

日 時：平成31年1月29日（火）15：00～17：00

司 会：教頭

出席者：学校運営協議会委員（5名）

大阪国際大学（教授）

㈱モンアタッシュ（代表取締役）

大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合（事務局次長）

北河内西障害者就業・生活支援センター（センター長）

本校PTA（会長）

校長 事務局（9名）

1 資料の確認および次第説明（教頭）

2 校長挨拶

2年生研修旅行の紹介。協議についてご意見・ご提言の本日の協議へのお願い。

3 報告

- ① 「平成30年度学校教育自己診断の実施と結果」について（首席）
資料に基づいて結果の分析を行い、今後の課題について報告した。
- ② 「むらの高等支援学校3学科6分野の実践報告」（学科長）
今年度の成果と課題について報告した。
- ③ 「平成30年度学校経営計画及び学校評価」について（校長）
今年度の評価について報告した。
- ④ 「平成31年度学校経営計画（案）」について（校長）

4 協議

D委員：「個別の教育支援計画・指導計画」の目標を知っている生徒が7割を超えているのは評価できる。生徒間に波風を立てないようにする必要はない。波風があることでトラブルを解決する力を身につけることは大切。

教員間の相談について、話しあう時間がないことが気になる。

C委員：学校の生徒指導に否定的である具体的内容は何か。一方で個別の教育支援計画の評価が高いが、そのギャップは何か。

B委員：トラブルに対する解決法を学校で学ぶ機会があればよい。

また、初任の先生や経験の浅い先生が具体的に困っている内容を知りたい。

E委員：教員の言葉づかいに対して敏感な方は、否定的に感じていると思う。そこが「学校の生徒指導に共感できる」が否定的回答の上位に上がっている要因ではないか。

A委員：むらのを見学した大学生は、生徒が楽しそうに学校生活を送っている印象を受けたが、生徒の意見は否定的である。

教員をめざすこれからの学生は、実際の現場を見ることが必要だと思う。経験の浅い教員への支援体制について、自己診断から2年め以降の教員のサポートが課題だと感じる。生徒対応について学年会の話し合いの内容はどうか。

事務局：生徒指導では生徒がとった行動はなぜか、しっかり話を聞く、複数で指導にあたる、教員間で常に連絡をとりあう、など考えなければいけないという話になった。

A委員：指導の際、気になる点はあるか。

E委員：親として知らなかったことを先生方から示してもらうことも信頼につながると思う。最終的にはむらのに来て良かったと思えるようになればいい。

A委員：卒業後、支援機関ではどうか。

D委員：本人ではなく母親からの相談が多く、親が主体になりすぎてしまうことがある。本人中心に物事を進めていきたいが。

C委員：就労移行支援事業所では個別の支援計画を3ヶ月に一回の割合でたてるが学校の状況はどうか。

事務局：教育支援計画は年に1回、指導計画は年に2回。

C委員：計画をたてる際には本人のニーズも盛り込むのか。

事務局：教師がまず生徒の課題を見つける。あらかじめ保護者から承っているものも含まれる。今後は本人との共有を進めていくことが課題である。

C委員：就労支援の現場では、本人と保護者で意見が異なる場合がある。施設と家庭でギャップがあり調整が難しいことがある。

B委員：会社で本人が見せる顔と家で見せる顔ではギャップがある。

個別の教育支援計画も三者で共通理解していければ良い。

情報共有しながら段階を踏んで納得できるものになると良い。

A委員：むらの中では自分の目標が何であるか生徒に示していることは良いので大切にしてほしい。また情報を共有して目標をたててほしい。

B委員：事例検討会は経験の浅い先生にとって有効だと思う。具体的にはどのような内容か。

事務局：学年を超えて共通理解を図ることが目的である。グループに分かれ様々な観点から意見を出し、今後の指導に役だてることが目的。

B委員：教員間で日頃の成功や失敗体験を交換していけるとよい。検討会以外にも事例集などで体験を共有する機会があれば教員の育成に役だつのではないか。

A委員：教員の仕事が過密である。教員も余裕を持って指導にあたるのが、良い教育につながり、保護者、生徒とも良い関係を保つことができる。

「学校経営計画」の校長からの報告からは頑張っている様子が伺える。次年度の計画は、コンパクトで3年後の指標も盛り込まれている。

支援教育は学校の原点であると感じている。次年度の経営計画について、委員から意見を伺いたい。

B委員：成功体験 失敗体験を活かせる取り組みをしてほしい。

A委員：異論はないので、次年度の「学校経営計画」は承認する。

今後も学外からの意見を大切にしてほしい。

事務局：今回の意見を参考に、今後も取り組んでいきたい。

5 校長挨拶

6 事務局より

任期や次年度のおおよその日程などを説明して、閉会。